共通価値の創造とサステナビリティ
ネスレ日本の取り組み

制作：ネスレ日本株式会社 マーケティング＆コミュニケーションズ本部　2023年6月

ネスレは、食の持つ力で、現在そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高めていきます

目　次

J-2 CEOメッセージ

J-3 特集_ネスカフェ　沖縄コーヒープロジェクト

J-4 人と地球のために
- 製品パッケージの改善
- サーキュラーエコノミー構築に向けて
- 持続可能な物流を目指して
- 食品ロス削減に向けて
- 国内3工場での取り組み
- 行動変革を推進する

J-8 コミュニティのために
- 製品を通じた支援
- 地域コミュニティの活性化を目指して
- 人とペットの豊かな共生社会実現のために
- ダイバーシティ・エクイティ ＆ インクルージョン・働きやすい職場
- イノベーションアワード
- コンプライアンス

J-11 家族とペットのために
- 健康的なコーヒー飲用習慣の推奨
- ネスカフェ アンバサダー
- 介護予防カフェ
- 健康的な選択肢の提供
- 製品パッケージ上の栄養表示

CEOメッセージ

私たちは*Good food, Good life*カンパニー、ネスレです。

Good food, Good life、それはすなわち良い企業活動を意味します。Goodとは自らを高い水準に保ち、そして常により良くなろうと努めることです。社会、ビジネス環境をはじめ、すべてがかつてないスピードで進化する今、私たちは、お客さまやペット、そして社会に対して高品質で安全な食品・飲料の提供をするという重要な役割と責任を担い、美味しく、心にも体にも嬉しい、そして使いやすく、環境にも配慮された製品やサービスを確実にお届けできるよう引き続き努めております。

1913年に日本で創業したネスレ日本は、おかげさまで 2023年4月に創業110周年を迎えることができました。これもひとえに、お客さまのご愛顧ならびにパートナー企業さまをはじめとするステークホルダーの皆さまのおかげと厚くお礼申し上げます。

これからもネスレ日本は*Good food, Good life*カンパニーとして、食品、飲料、栄養健康製品、ペットケア製品、そして付加価値の高いサービスで実現できるイノベーションを探究することで、食の持つ力で現在、そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高めていきます。

代表取締役社長兼CEO
深谷　龍彦

特集_ネスカフェ 沖縄コーヒープロジェクト

木に実る
コーヒーチェリー

焙煎された沖縄県産のコーヒー豆

2019年、ネスレ日本と沖縄SV株式会社は、沖縄県名護市、琉球大学と連携して、国産コーヒーの特産品化を目指す「ネスカフェ 沖縄コーヒープロジェクト」を開始しました。

沖縄県内の耕作放棄地などを活用し、国産コーヒー豆の栽培に本格的に取り組むことで、沖縄県の第一次産業における問題解決を目指しています。

2020年には沖縄県立北部農林高等学校、2022年からは沖縄県うるま市とも連携し、取り組みを加速しています。

2023年春には、プロジェクト発足から5年目を迎え、コーヒー豆の初収穫をすることができました。

なお、「ネスカフェ 沖縄コーヒープロジェクト」には、ネスレが持続可能なコーヒー栽培の実現と高品質なコーヒーの提供のために世界的に取り組む「ネスカフェ プラン」の知見が活かされており、ネスレは、コーヒー苗木の種の提供やコーヒーを栽培する上で必要となる技術支援を行っています。

Voice 社員の声

農学者として沖縄に常駐し農業サポートをしています。沖縄県は国内で唯一、県内全域が亜熱帯地域に属し、コーヒーの露地栽培(※)が可能な地域です。台風、夏の高温、多岐にわたる土壌条件など、亜熱帯地域特有の課題は多々ありますが、東南アジアをはじめ世界各国にいるネスレの農学者と連携しながら、再生農業の考えに基づいたコーヒー栽培の普及に取り組んでいます。

(※)作物を屋外の畑で栽培すること

生産本部
一色 康平

産学官で連携し
プロジェクトを進めています。

沖縄SV(オキナワ エスファウ)(ネスレ日本と協業)

2015年創設。元サッカー日本代表で、国内ではJリーグ、海外ではドイツなどで活躍した髙原直泰氏がオーナー、監督、選手を務める沖縄県のスポーツクラブです。クラブ設立当初より農業や地域活性化の取り組みを行っており、2021年9月には地域活性化や地方創生を目的とした農業生産法人として沖縄SVアグリ株式会社を設立。

琉球大学(連携)

農学的見地からコーヒー栽培を行う上で必要となるノウハウ・情報の提供を行います。

沖縄県名護市(連携)

発足時に名護市の農地でコーヒーの苗木を移植して以降、同農地内での栽培本数を段階的に増やしています。

沖縄県うるま市(連携)

耕作放棄地を活用したコーヒー栽培の新農場の開設のほか、ユニバーサルカフェのオープンをはじめとした「コーヒーを活用した地域活性化」を行っていきます。

沖縄県北部農林高等学校(連携)

熱帯農業科の授業・実習の一環として、コーヒーの苗木を高校の農場に移植・育成する取り組みや、コーヒーの種子の発芽実験や生育調査を実施しています。

人と地球のために
資源と環境を守ります

ネスレの2030年に向けた長期的な目標は、事業活動における環境負荷ゼロを目指すことです。
また、気候変動そして持続可能なパッケージへの取り組みについては、右のようなコミットメントを掲げています。
ネスレ日本においても、重点項目を定めて事業活動における取り組みを進めています。

気候変動への取り組み
2050年までに温室効果ガス(GHG)排出量実質ゼロを達成する

持続可能なパッケージへの取り組み
プラスチックパッケージを100%リサイクル可能に設計する
2025年までにバージンプラスチックの使用量を3分の1削減する

製品パッケージの改善

コミットメントの達成に向け、製品パッケージの改善に取り組んでいます。 2019年から始めた「キットカット」大袋製品の外袋素材をプラスチックから紙に変更する取り組みは、2020年にはほぼすべての「キットカット」大袋製品へと拡大、取り組み開始以来累積1,150トン(2022年末時点)のプラスチックを削減しました。

「ネスカフェ　エコ&システムパック」では、2008年の発売以降、継続的にパッケージ素材の改良に取り組んでいます。

2021年1月、ネスレ ヘルスサイエンス「アイソカル」製品のストローの材質を業界で初めてプラスチックから紙に変更しました。紙ストロー採用により、累積15.6トン(2022年末時点)のプラスチックを削減しました。

2022年3月、ネスレ ピュリナ ペットケアでは、キャットフード「モンプチ」製品の外袋を紙パッケージに順次変更しました。この取り組みにより70トン(2022年末時点)のプラスチックを削減しました。

2022年3月、ラベルを剥がす手間の軽減や、ごみの削減につながる「ネスカフェ エクセラ ボトルコーヒー」のラベルレス製品を発売しました。

Voice 社員の声

これからも関係者の皆様と協力しながら、バージンプラスチック使用量の削減にチャレンジしていきます。

生産本部
長崎 諒

サーキュラーエコノミー構築に向けて

廃棄物の削減を目指して、サーキュラーエコノミーの構築に向けた取り組みを進めています。

2022年2月、日清紡グループと共同で、「ネスカフェ エコ & システムパック」の空き容器等から紙糸を作って繊維とし、それをコーヒー残渣で染め衣類としてアップサイクル*する取り組みを開始しました。

2023年3月、資源や食品残渣のリサイクル率向上を目指す企業連携プラットフォーム「一般社団法人アップサイクル」に参画しました。廃棄される紙資源や間伐材を紙糸にアップサイクルするプロジェクト「TSUMUGI」には、紙資源の一つとして、「ネスカフェ エコ&システムパック」や「キットカット」、「モンプチクリスピーキッス」大袋製品等、ネスレ日本製品の紙パッケージが使用されています。紙糸を編立・製織し、生地素材に仕上げることで、衣服をはじめとした様々な繊維製品として生まれ変わらせることができるため、廃棄される運命にあった紙パッケージに新たな命を吹き込むことができます。

*ゴミになってしまう物を価値のある物に変える試みのこと

アップサイクルで作られたTシャツ

一般社団法人
アップサイクル
Upcycle Association

Voice 社員の声

使い終わった資源を捨てずに有効活用するきっかけや、モノを大切に長く使い続けようという価値観が広がることを目指します。

マーケティング&コミュニケーションズ本部
瀧井 和篤

ネスレネスプレッソは、2020年8月より「ネスプレッソ リサイクルプログラム」を開始しました。カプセル回収ボックス設置店舗やパートナー企業等にて回収した使用済みカプセルを分別し、カプセルのアルミニウムは再生アルミニウム素材に、またコーヒーかすは培養土原料へと生まれ変わっています。 2022年7月までに約450トンの使用済みカプセルを回収しました。そして、2022年8月からは、より多くの皆様にご参加いただけるプログラムを目指し、ご自宅まで使用済みカプセルの回収に伺う新サービスを開始しました。

2023年3月、「ネスカフェ ドルチェ グスト」の使用済カプセルを店頭で回収するリサイクルプログラム「ネスカフェ ドルチェ グスト リサイクルプログラム」を、神奈川県内のイトーヨーカドー7店舗で開始しました。「ネスカフェ ドルチェ グスト」としては初となるスーパーマーケットの店頭でのカプセル回収活動を行います。回収されたカプセルは、リサイクルのための処理を経てペレットに成形した後、新たな資源に生まれ変わります。

持続可能な物流を目指して

ネスレは、プラスチックパッケージを100%リサイクル可能に設計すること、バージンプラスチックの使用量を3分の1削減することをコミットメントとして掲げています。
物流の領域においては輸送中の商品ダメージを抑えるためストレッチフィルム（プラスチック）が使用されており、多くはトラックへの積み込み時にドライバーの手により巻かれています。
物流環境は2024年問題に直面しておりドライバー不足は深刻な社会問題となっていることもあり、ネスレ日本はプラスチック使用の削減とドライバーの作業環境改善を物流領域で達成するため、自社内物流におけるストレッチフィルムレス輸送へ取り組んでいます。製造とサプライチェーンが協力することで物流上の課題解決への取り組みを開始しました。

Voice 社員の声

物流におけるストレッチフィルムレス輸送は環境に対する取り組みだけでなく、トラックドライバー様にとっても負担となっている作業を取り除く効果があります。社内の様々な部門が一丸となって実現する事が出来ました。これからも物流環境改善に取り組んで参ります。

サプライ・チェーン・マネジメント本部
坂口 治夫

2022年1月、お客様相談室では、環境配慮を実現するため、新たな封緘用テープを導入しました。テープは、紙とでんぷん糊で構成されています。段ボールと一緒に資源として回収できるため、お客様からも「分別の必要がなくなった」と評価を受けています。
また、ブランドコミュニケーションの観点で、表面が印刷可能である事に着目し、お客様相談室のスタッフが“ぬくもりのあるデザイン”を意識してテープを制作しました。
現在は、お客様相談室以外でも活用を開始しています。

新しいテープのデザイン

食品ロス削減に向けて

製品を製造・販売する上で、お客様の需要をできる限り正確に予測し、過剰在庫が発生しないよう製造計画を立てるとともに、製品を製造する上で必要となる原材料や自社で保管している製品在庫量、製品出荷後の流通在庫量を適宜モニタリングし、過剰在庫が発生しないよう努めています。
2021年6月、食品ロス削減に向けた新たな取り組みとして、みなとく株式会社と共同で「みんなが笑顔になる食品ロス削減ボックス」の運用を全国5か所で開始しました。
「食品ロス削減ボックス」では、納品期限を超過したことで出荷される流通先が限定され、場合によっては廃棄される可能性がある「ネスカフェ」や「キットカット」製品などが販売されています。飲食が可能でありながら、通常の流通ルートでの販売が困難になっている製品を消費者に販売する新たなチャネルを構築し、食品ロス削減を目指しています。

食品ロス削減ボックス

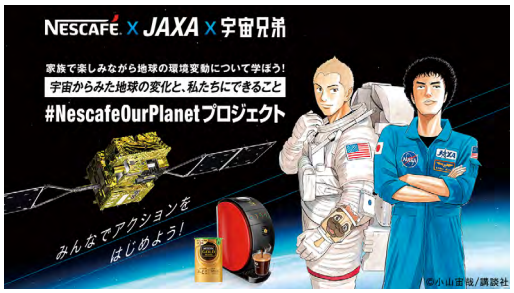
姫路工場：コーヒーかす熱エネルギー回収システム

国内3工場での取り組み

2016年に国内の全3工場で埋立廃棄物ゼロを初めて達成して以降、現在も継続しています。
島田工場（静岡県）と姫路工場（兵庫県）では、コーヒー抽出工程で排出されるコーヒーかすのほぼ100%をバイオマスとして再利用し、その再生可能エネルギーで発生した蒸気を工場の熱源として利用しています。
また、島田工場は、2010年から、製造過程で発生するコーヒーかすの一部を培養土にリサイクルする活動も続けています。

行動変革を推進する

廃棄物のない未来の形成には、私たち一人ひとりの意識を変えることが必要と考え、さまざまな啓発活動を行っています。ネスレ日本では、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と共同で環境啓発を行うエコプロジェクト『#NescafeOurPlanet（ネスカフェ アワープラネット）』を通じて、親子で楽しく地球環境について学ぶ機会を提供しています。



神戸市須磨海岸の清掃

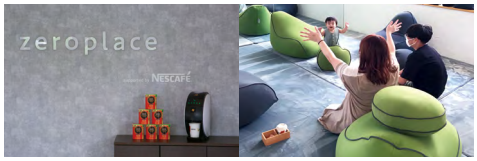
2021年からは、全国の小中高校生を対象に、環境問題について考える授業を開始し、2022年末までに、1000名を超える生徒の皆さんと環境について考えてきました。
また、2023年5月、これまでの対面授業の経験をいかし、中高生向けの探究学習映像教材「ネスレ サステナビリティ プログラム ～はじめよう探究学習～」を開始しています。全国の中学校、高校のみなさまに、いつでも、どこからでもネスレのサステナビリティの取り組み事例を授業でご活用いただけます。
(https://www.nestle.co.jp/csv/sustainability-program)
2022年5月には、ネスレ日本とNPO法人 須磨ユニバーサルビーチプロジェクトが協力し、神戸市須磨海岸の清掃活動をおこないました。

製品を通じた支援

食糧支援が必要な方々に向けて、社会福祉協議会や全国のフードバンクへ製品寄贈を行っています。2022年は新たに札幌市社会福祉協議会への製品寄贈を行い、主に新型コロナウイルス療養者やその対応をされている保健所の職員、生活困窮世帯、母子生活支援センターへ製品が送り届けられました。この取り組みは、ネスレ製品を通して、ほっと一息リラックスタイムを楽しんでいただくことを目的としています。これからも各団体と協力して活動を継続していきます。

地域コミュニティの活性化を目指して

製品やサービスを通じて、地域コミュニティの活性化を支援しています。
2021年10月、沖縄県浦添市の子育ての孤立を防ぐ助産師常駐のラウンジ併設型産後ケア施設「zeroplace supported by NESCAFÉ」の立ち上げを支援しました。育児相談もできる地域の拠点として、産前産後のご家族をサポートしています。



「zeroplace supported by NESCAFÉ」(浦添市)

2021年11月、神戸市による長田区ふたば学舎内の資源回収ステーションの立ち上げに参加しました。2022年8月には、神戸市内2か所目となるあづま資源回収ステーションも開設されています。ネスレ日本はコーヒーメーカーを提供し、コーヒーやチョコレート等を楽しみながら、市民がくつろぎ、気軽に立ち寄れるコミュニティを創出するとともに、プラスチック資源循環やサステナビリティへの意識醸成を支援しています。資源回収ステーションは、以降市内各区に開設されています。

あづま資源回収ステーション(神戸市)

人とペットの豊かな共生社会実現のために

PURINA®

**ペットに寄り添い
共に歩む未来へ**

ピュリナは、保護犬・保護猫の
未来を支える活動をサポートしています

http://p.nestle.jp/pet/

VR内の映像

イメージ写真:
VR体験をする子どもたち

ネスレ ピュリナ ペットケアが目指すのは、人とペットがともに暮らす豊かな社会の実現です。そのためにペットをとりまく社会問題解決に向けて、ペットとペットを愛する人々に寄り添いながらさまざまな取り組みを進めています。

2022年6月、大阪府と協働し、VR(バーチャルリアリティー)技術を活用した動物愛護教育プログラム「ともにくらす ピュリナ わんにゃん教室 the VR」を子ども向けに開始しました。プログラムでは、正しい動物との触れ合い方に加えて、犬・猫の目線で人間との対面を体験するVRならではのコンテンツを盛り込むことで、子どもたちが動物の命の尊さから正しい飼育方法までを楽しみながら学べるようにすることを目指しています。

ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン・働きやすい職場

ひょうご・こうべ
女性活躍推進認定
ミモザ企業

ネスレでは“ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン”を推進し、誰も取り残さないインクルーシブな職場環境の醸成に取り組んでいます。その支援者となる「アライ」の存在が大切と考え、「アライシップガイド」(※)を作成し社員に共有しています。

(※) アライシップとは、社会的少数派のグループの人々を積極的に支援することを意味します。

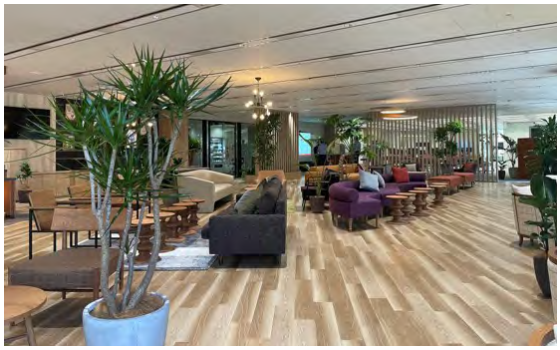
2023年3月には、過去3年間の女性活躍推進の取り組みが認められ、兵庫県と神戸市が共同で立ち上げた「女性活躍推進認定-ミモザ企業」に認定されました。2022年には、1年間の女性リーダーシッププログラムを立ち上げ、将来の管理職候補となる女性社員の育成に取り組んでいます。また2022年の男性の育児休業取得率は、前年より約10%向上し、55%に達しました。

オフィス勤務とリモートワークを組み合わせたハイブリッドワーキングの推進によって柔軟な働き方が浸透していることを踏まえ、2023年からはより多様なニーズや社員のライフステージを応援していく支援施策「F-work@Nestlé」を新たにスタートさせ、プライベートと仕事の両立支援を拡大させていきます。

Voice 社員の声

2022年に実施した意識調査で、社員の満足度に最も影響を及ぼすのが、「インクルーシブな社風」であることが明確になりました。引き続き、社員が自分なりのアイデアやソリューションをしっかりと考え、臆することなく発言でき、共に成長していける環境を作っていきます。

人事総務本部　岡田 裕子


本社オフィス:オープンアドレスの環境

社員による会議の様子

イノベーションアワード

少子高齢化が進む成熟先進国の日本で、日々刻々と変化していく問題を解決するためには、社員一人ひとりがイノベーションを通じて顧客に価値を提供しなければなりません。社員全員が顧客の問題を発見し考える力を養うことができるよう、ネスレ日本では「イノベーションアワード」とよばれる社内コンテストを毎年実施しています。社員全員が、自分の顧客は誰か、顧客が抱える問題は何かについて考え、問題を解決するためのアイデア、そしてそれを実行した結果を応募します。

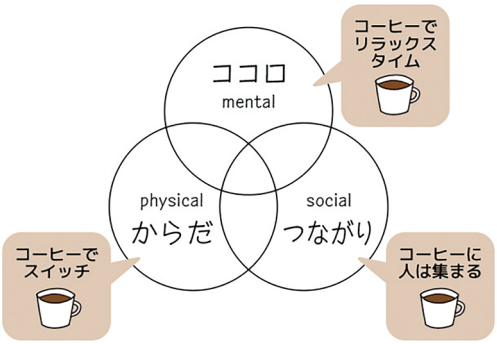
2022年は、応募の中から上位に入賞した社員とその家族に、「ネスカフェ沖縄コーヒープロジェクト」体験・見学ツアーがおこなわれました。コーヒー生産の現地を見ることで、さらにコーヒーの魅力を学ぶことができました。

ネスレ企業サイト Speak Up - お聞かせください
https://www.nestle.co.jp/aboutus/principles/report-your-concerns

コンプライアンス

ネスレは「ネスレの経営に関する諸原則」および「ネスレ考働規範」に基づき、世界中で事業を行っています。
また、すべてのステークホルダーの皆さまから、コンプライアンスに反する可能性がある案件について連絡していただく専用システム「Speak Up -お聞かせください」を企業サイト上に設けています。
2022年、お客様の個人情報をより安全に取り扱っていくために、各部門に個人情報責任者を配置、個人情報保護のための体制を強化しました。また、法改正に伴い、プライバシーポリシー及びガイドラインを改定しました。

健康的なコーヒー飲用習慣の推奨



日本人にとって最大のポリフェノール摂取源として知られているコーヒー。「3 Coffee a Day ～ 1日3杯のコーヒー習慣がいい人生をつくります」をキーメッセージに、1日3杯のコーヒー飲用習慣を提案しています。

最近、「座位行動*1」が健康と密接に関係していることが注目されています。世界20カ国の座位時間を比較した研究では、日本人が最も長く座っているという結果が示され*2、「座りすぎ」は身近な問題となっています。
従業員約300名を対象にした食事摂取・生活習慣に関する調査（2021年）にて、コーヒーブレイクのある暮らしが“座りっぱなし”の生活によるストレスの改善に影響するという新たな可能性が見出され、2022年は学会での発表・セミナー*3、*4を実施し社外への発信を行いました。

さらに2022年12月には、従業員を対象にした社内セミナーを実施しました。「座りすぎ問題」研究の第一人者である早稲田大学スポーツ科学学術院 岡浩一朗先生をお招きし、座りすぎによる身体・精神・仕事面への影響、ブレイク（座位行動の中断）の重要性および実践方法をご紹介いただきました。現在、社内で昇降機能付きデスク・疲労軽減マットを設置し、座りすぎ問題に取り組んでいます。

*1: 起きている間に、座位・半臥位（リクライニング）・臥位の状態で行われるエネルギー消費量が1.5メッツ以下の行動
*2: Bauman AE et al. : Am J Prev Med 41(2), 228-35 (2011)
*3:「コーヒー摂取とポリフェノール、座位行動とストレス指標 ～企業従業員を対象とした横断調査「NQ調査2021」～」日本栄養・食糧学会要旨集, P208 (2022)
*4:2022年6月12日 第76回日本栄養・食糧学会大会 ランチョンセミナー

Voice 社員の声

リモートワークの増加に伴い、便利になった一方で座りっぱなしの時間が多くなっていると感じています。コーヒーをいれるために席を立つことでちょっとしたコミュニケーションにもつながりますし、コーヒーブレイクを生活に積極的に取り入れることはぜひお勧めしたいです。

マーケティング&コミュニケーションズ本部
新井 真由美

ネスカフェ アンバサダー

「ネスカフェ アンバサダー」プログラムは、職場やコミュニティに「ネスカフェ」のコーヒーメーカーを無料で貸し出し、専用のコーヒーカートリッジの定期購入と代金回収は「ネスカフェ アンバサダー」と呼ばれる職場の代表者に協力していただくサービスです。一杯のコーヒーを起点に会話や笑顔を広げる“オフィス内コミュニケーションの活性化”といったベネフィットが受け入れられ、一般オフィスに限らず、病院、美容サロン、学校など、さまざまな職場でご利用いただいています。

介護予防カフェ

2013年、兵庫県神戸市とネスレ日本は、こうべ元気いきいき!プロジェクトの連携協定を締結しました。栄養や健康に関するノウハウを活かし、高齢者の生活の質向上に貢献しています。取り組みの一つである「介護予防カフェ」にコーヒーメーカー「ネスカフェ ゴールドブレンド バリスタ」などを提供し、「ネスカフェ」を楽しみながら語らう集いの場作りを応援しています。これまでに神戸市で83か所(2023年4月時点)立ち上げ、地域コミュニティの活性化に取り組んできました。プロジェクトは今年で10年目を迎えます。引き続き神戸市と協力して高齢者が元気にいきいきと生活することができる取り組みを行います。

「ネスカフェ」を楽しみながら語らう集いの場「介護予防カフェ」

介護予防
カフェ通信 9 2022年 月発行

contents

新規オープン!
「ふれあい喫茶 カムカム」

地域のカフェを紹介!
介護予防カフェ探訪記

神戸市からのお知らせ
・元気の秘訣は、お口から!?
・介護予防カフェ立ち上げを検討されている方へ
・秋期回収キャンペーン
「ネスレコーヒーはよく出ていますか?」

発行：ネスレ日本株式会社

コロナ禍を乗り越え、新規介護予防カフェが誕生

カフェを立ち上げようと思ったきっかけを教えて下さい

立ち上げを振り返っていかがですか?

これからどのようなカフェにしたいですか?

ふれあい喫茶 カムカム

介護予防カフェを紹介する「カフェ通信」を定期的に発行しています。

健康的な選択肢の提供

ネスレ ヘルスサイエンスは、医療・介護現場で30年以上の実績があるブランドをはじめとして、あらゆるライフステージをサポートする幅広いブランドを保有し、「栄養のちから」を通じて、人々の健康的な生活をサポートしています。2023年3月、「アイソカル ゼリー ハイカロリー」10製品が国が定めた許可基準をクリアし、「特別用途食品 えん下困難者用食品 表示基準Ⅱ」の“誤嚥防止を目的としたえん下困難者に適した食品”として表示許可を受けました。飲み込みに困難を感じる人の食事に、安心してご使用いただけます。

また、2020年9月から継続して、65歳以上のための栄養評価アプリ「MNAプラス」の提供をしています。

「ミロ」ウェブサイト内『“鉄”摂取量チェック』

「ミロ」は世界40か国以上で販売されており、日本でも『強い子のミロ』をキャッチフレーズに1973年に発売されて以来、50年以上にわたり愛されています。
2022年8月、発汗によるミネラル流出や食事の偏りが気になる夏に“鉄”摂取を啓発するため、『“鉄”摂取量チェック』を「ミロ」のウェブサイトで公開しました。

ペットケア製品を扱うネスレ ピュリナ ペットケアは、卵由来のタンパク質が唾液中の猫アレルギーの原因物質を中和することにより、猫の被毛やふけに付着する猫アレルゲンを減らすキャットフード「ピュリナ プロプラン リブクリア」を発売。発売以来、多くのお客様にご愛用いただいています。

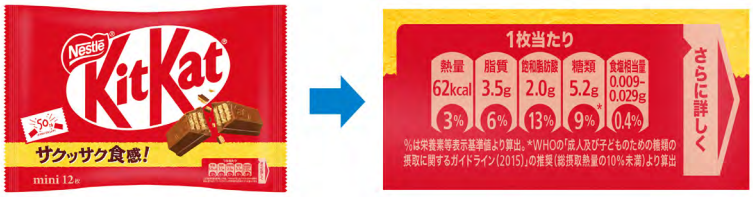
Voice 社員の声

高品質なネスレ ピュリナの商品を通じて、ペットとご家族がより豊かで充実した生活を安心して送れることを目指してまいります。

ネスレ ピュリナ ペットケアマーケティング部
杉山 宜彌

製品パッケージ上の栄養表示

健康的な食生活に役立つ情報を提供し、製品に対する理解を深めてもらうために、ネスレでは製品パッケージ表面で1食分当たりのエネルギー（熱量）、脂質、飽和脂肪酸、糖類や食塩相当量と、それらが1日の目安に対して占める割合（%）をアイコン化し、わかりやすく表示しています。さらにパッケージ裏面の「ネスレ ニュートリショナルコンパス」の栄養成分表示と連動し、詳しい栄養情報をガイドします。



栄養ガイド表示（カロリーガイド表示）：栄養素の1食分当たりの量とそれが摂取目安に対して占める割合（%）をアイコン化し、わかりやすく表示しています。